

4,268,478 円の寄付をいただきました！



5月14日(月)、みやぎ生活協同組合からMELONへの寄付金贈呈式が行われ、3,241,818円の寄付をいただきました。また、協同組合日専連仙台からも1,026,660円の寄付をいただいています。

MELONを支えている協同組合のうち、みやぎ生活協同組合と協同組合日専連仙台・日専連ライフサービスでは「MELON協力商品券」を販売しています。この商品券のご利用額の一部がMELONに寄付されて皆さんの日常のお買い物行動から環境を守る活動に役立つ仕組みが作られています。

MELONの活動はこうしたさまざまな組織、たくさんの人によって支えられています。皆さんもぜひ、「COOP MELON協力商品券」「日専連MELON協力商品券」をご利用ください。宮城県内のほとんどの専門店・大型店でご利用いただけます。贈答にもご利用いただけます。ご用命は、みやぎ生協各店舗又は日専連仙台・日専連ライフサービスまでお願いします！

COOP MELON 協力商品券



日専連 MELON 協力商品券



各協同組合からのお知らせ

MELONの協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

夏休み親子企画

みやぎ生協の水辺の楽しみ方 ～ホテルの観察会～

『定義山』

日時：7月16日(月・祝日)18:00～21:00
集合場所：仙台市青葉区定義 定義交流センター
参加費：500円(中学生以下250円)

◆定義山ホテル祭りに合流します。

『ホテルから学ぼう！みやぎの水辺』

日時：7月21日(土)10:30～12:30
開催場所：みやぎ生協文化会館ウィズ
参加費：1家族500円

◆ホテルの生態を学びます。

◆希望者には幼虫プレゼント

『秋保・新川』

7月22日(日)19:00～21:30
集合場所：仙台駅西口バスプール
参加費：1,000円(中学生以下500円)

◆ヒメホテルを求めて秋保・新川をまわります。

みやぎ生活協同組合からのお知らせ

第16回水辺の観察と水質測定参加者募集

今年も水質測定参加者を募集します。

測定期間：7月20日(金)～8月21日(火)

夏休み親子“森”体験会

私達が植えた“木”はどうなっていくのだろう？私達の暮らしに深く関わっている“木”の一生をたどっていきます。見て、触って、木の香りを楽しむ体験会です。夏休みの自由研究のヒントがいっぱい。

行き先：大衡村、津山町方面

日時：7月28日(土)

締め切り：7月20日(金)

集合：仙台駅西口バスプール 8:50 集合

参加費：2,000円(中学生以下半額)

◆木工クラフトお土産付き

お申し込みの締め切りは、6月30日(土)です。

参加希望の方は、住所・氏名・電話番号を明記の上、ハガキ・FAX・メールで下記までお申し込みください。同行者は連記ください。

■申し込み・問い合わせ先■

みやぎ生協生活文化部 環境活動事務局 昆野
〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
TEL 022-218-3880 FAX 022-218-3663
E-mail kankyok@snet.coop.or.jp

ストップ温暖化センターみやぎ『通信』Vol.33

緊急フォーラム 気候の安定化に向けて直ちに行動を！ —科学者から国民への緊急メッセージ—

4月28日（土）、仙台市博物館ホールで行われた緊急フォーラム。ゴールデンウィークのはじめにも関わらず、大勢の方が講演を聞きに来ていました。

まず、NPO 法人環境生態工学研究所の理事長である須藤隆一さんから環境をめぐる現状についてお話がありました。「温暖化は確実に加速しています。今行動を開始すれば、子どもたちと人類の未来を守ることができる。」と印象的な言葉でした。

IPCC 第2作業部会第10章総括代表執筆者である原沢英夫さんからは、IPCCの報告書の読み方についてお話がありました。IPCCとは、気候変動に関する研究結果をまとめたものです。会議の舞台裏の奮闘の様子も知ることができ、IPCCの報告書は、本気で地球のことを考えている人たちからのメッセージ、精一杯の訴えのような気がしました。

パネルディスカッションでも、温暖化に関心の高い方からの積極的な質問が飛び交っていました。

この場に訪れた人たちだけでなく、ここからさらに広まっていくといいですね。今後のIPCCの動きに要チェックです！



200名余りの方が緊急フォーラムに集まりました

宮城県地球温暖化防止活動推進員 4期生誕生

4月20日（金）、宮城県地球温暖化防止活動推進員（以下、推進員）の委嘱交付式が宮城県庁で行われました。

今回の委嘱で推進員に4期生が誕生しました。4期生が入ったことで推進員も総勢66名となり、更なる活動に気合が入るところです。

委嘱状が交付された後、推進員と環境保全活動アドバイザーとの合同研修会がありました。推進員でもあり、環境保全活動アドバイザーでもある菅谷匡氏や、推進員の小幡秀樹氏、千葉清幸氏から各活動や心構えについて、また全国推進員交流会の報告などがありました。

その後のグループ討議では「地域の課題・問題点を共有しよう」というテーマで、活発な議論が交わされていました。普段なかなか接する機会

のない環境保全活動アドバイザーや保険環境センター職員の方と交流できたことは、推進員にとって大きな収穫となったようでした。



新たに12名が4期生として委嘱されました